寺內新陸相聲明

に基率せるべからず、不 を打開して整々関連の実施 関家の安固を期し非常・局 関を事け関防を完成して

所信の貨棚に適進せんとすなるを知り深く自ら決する なるを知り深く自ら決する 対して乾れて後れて変れる。 英雄を排して乾れて、

許駐日大使

神戸着ステー

發表

陸と同時に左の

新藏相財政方針

原京園通)寺内新陸相の歴 ・ 大いに関からした。 ・ 大いに関からした。 ・ 大いに関からした。 ・ 大いに関からした。 ・ 大いに関かたした。 ・ で変揮しよく。 ・ で変揮しよく。 ・ で変が、又これを別土腹汎なるものが にでである。 ・ で変が、といるのではなる。 ・ で変が、といるのでは、 ・ で変が、 ・ で

【東京園通】馬場新蔵相能九日夜の初閣議監會接左の動く 野内閣の財政維持方針を動明 したが共内容に於て前内閣の 財政方針とは相當の差異ある 非を明かにし高橋財政の踏襲 を排して増祝その他の増取方 を構立すべき管を示要した

世英氏並に主

主命事情等一行也

- (日

【東京國通】

版田首相並に 夜の初開調散

文部大臣に就ては特に適任

本ではまだ考へ及んでゐない

大田名、無任所大臣制、

大田名、無任所大臣制、

大田名、無任所大臣制、

大田名、無任所大臣制、

者を求めるため哲く内相象 を局に就ては本来同局が永 を局に就ては本来同局が永 といぶ建前で設けれ

けるものと自信して早して現下の時局對處して現下の時局對處しい。尚政府と軍部とはいい。

陸軍の職制改革

本日發表

岡田首相

前官

禮遇拜辭

日中に設合される事となった。範関に及ぶものとみられる。

*)

以來十三日間引續き休業を積

程長期に亘つ

一週間、大正気年の職後恐慌一年、昭和二年の金融、六年ドイツ皇常鵬和提議の際一十二年の闘東大震災にて休業した歴史をみると大正」には二回に亘つて廿

観恐慌

に上り

てゐる

この休業觀きには悲鳴を擧げ

覆...

探上げ九日午後二時半より。 東株の十日

2二時半より重役會聯合委員會を開き十日より再開に決定した。大阪:東株の十日盛開けか否かに就ては九日午後三時より協議する豫定ので

其他全國株式取引所も外振りに所組閣好轉の情報に急に豫定を

情の競行が行詰まりつゝあ 何等の差支はなく又今日公 に依り支排する事は元より に依り支排する事は元より に依り支排する事は元より で、歳出の一部を公債

二萬二千圓だからかれこれ三もので今回は五圓目で今期東株の一日平均丰敷料收入は約

十萬圓近くの收入減である、

十三圓卅銭安の百四十六圓丁度に寄付いた

東株は愈々十日定刻より開場したが俄然大暴落を演じ新東は

所

新東は休會前に比し十三**圓**卅錢安

一暴落

日定刻より開場の筈である

東株の長期休業は

回が

休會前に比し

東株け

ふ定

刻開場

戶

不祥事發生以來の 御軫憂御精勵

督有の不祥事 恐懼感激の

大臣、重臣、軍事金融官等 大臣、重臣、軍事金融官等 大臣、重臣、軍事金融である。 陛下には か、大第である。 陛下には はずかがませ給ひ同日直ちに各 歴ーには は なやませ給ひ同日直ちに各 歴ー 数申上げる中に 陛下には 数用上げる中に 陛下には を宮中に召され事態は漸く鎮脈に に依つて事態は漸く鎮脈に であつた、新くて のであつた、新くて

大臣等に日本調を出るが 大臣等に日本調を行はせられて施田外相に 大臣等に日本調を別があつて近衢公の 大臣等に日本調を引きに及んで 大臣等に日本調を場び、宮相の親 大臣等に日本調を場び、宮相の親 大臣等に日本調を賜ひ念迫 大臣等に日本調を賜ひ念迫 たるる湯浅内府はじめ各國務 大臣等に日本調を賜ひ念迫 たるる湯浅内府はじめ各國務 大臣等に日本調を賜ひ念迫 たるる湯浅内府はじめ各國務 大臣等に日本調を賜ひ念迫 たるる湯光内府はじめ各國務 大臣等に日本調を賜ひ念迫

移に就て大御心を留めさせ 静いつつも一般御政務は少 しもゆるがせに輩ばされず 御日課の御運動は全然御取 止めになり殆ど御蹇食をも 忘れさせ給ふたと洩れ承る 又 最后陛下に於かせられ でも 天梟陛下の御健康を がらせられの地久節の御儀を され六日の地久節の御儀を され六日の地久節の御儀を か 高いであり り 両陛下の長き御心事を り 両陛下の長き御心事を り 両陛下の長き御心事を がらせられた程であり り 両陛下の長き御心事を

9



この間に於けるわが同胞の を しい 自然物を 回想し、 うただ

を迎ふ

陸軍記

既にして山河水温み、早春 東記念日を迎へた。思へば率 東記念日を迎へた。思へば率 大倉戦のその日より、時を閲 するまさに三十と一戦、われ

早春 東方大陸に於 舊東北政権と たものであつ

力とは、あらゆった。にも拘らず 大気と、而して 籍を正しく承け織くものであ ・一般年前のわれらの先人の功 ・一般年前のわれらの先人の功 ・一般年前のわれらの先人の功

類の觸趾地鐵等を念頭の外に 他界の情勢は、全世

平和の要論であるとし、全人 関並びに市場を擁する基國が 関連がに市場を擁する基國が 水せんとする國家又は民族 正常な發展を遂

……三月の躍らかな陽光は輝 そそいでゐる。」 管態を繰り返す必要はないで あらら。先数の事件は見き衝撃となつて、全國民の胸底を らつたのであつた。徒らに低 行の摩擦にとらはれず、明日 への、非常時克服のためのエ への、非常時克服のためのエ

等、野崎の混沌を生んこの餘波が月滿に對し この餘波が月滿に對し に緊迫してゐるのであ に緊迫してゐるのであ した。 一致の緊要なることに 一致の緊要なることに 来るもの特 時下の非

について について

田來高 等付 130°0° 表表

現● のでは、一般のでは、

念日

ひたすらなる努力は、隆々た 專任文相 近日中 松浦九大總長 いた所の計勢力とは、あらゆる新典を弾して日本の正当なる勢力を駆迫せんとした。昭和六年九月十八日、導火線に助ぜられた聖火は、諮園の障害を撃破して、歴史の進度をとの本来の軌道に固復せしめたのであつた。その本来の軌道に固復せしめたのであつた。その故を以て、大き時機に到達したと言は は 現時 **政有力**

らと財立し、

100-10

申

日も早く内閣を成立せ

同大連へ 一原本天へ 一原本天へ 一原本天へ 一原本天へ 一原本表氏(清洲自動車運 一般小線三氏(育社員)同大 一度小線三氏(育社員)同大 一度小線三氏(育社員)同大

第一回賣 三〇弗〇〇〇

第一回 質要

▲上海為替相 相

第一回賣

紐

育

向

となつたのは 御沙汰を拜する事となつてる。、間田首相は前官禮遇の を揺感し、御命を拜群し、只 管護慣の意を表する事に強て 決意し、その旨宮內省に通知 してあつたので、九月右御沙

| 東京関通] 三上急大博士の 「東京関通] 三上急大博士の 「東京関通] 三上急大博士の 一直、 総田萬博士等が挙げら で時局を安定せしめんとする にあり、追つて専任文相を決 のる事になって居る、 () 候補 では、 () は、

商况欄

月十

日前場)

▲濱田敷二氏 (乾電池) 同ル 海外經濟電報 海線塊 一九片三分 配育銀塊 四四個四分 米支為替 四光銀 四四個四分 米支為替 四光銀 四四個四分 米支為替 四光銀 四四個四分 米支為替 三二九弗〇四 二九弗八分 三四弗八分 二九十二分 一志二片、分分

四香氏(同)同四香氏(同)同番版氏(音配員)同選に(會配員)同選所(會配員)同選所(會配員)同選所(會配員)同選所(自分の地)同學的市氏(質易能)同學的市氏(質易能)同

三氏(歯和食員)同二氏(歯社員)同八調(端銭)同一杯(協和食員)同二氏(歯には、

陸軍上層部の異動

く發令され

事件に關する肅軍の意

一氏 (三菱商事) 同 **鄭氏(商業)同率**

見込であり同時に陸軍大官、 意謀總長等の異動も發表される 意謀總長等の異動も發表される を謀總長等の異動も發表される 下が轉補されるものと雅想ざ

は九日午後川島陸相上奏御歳した人事行政上の特例實施の件を人事行政上の特例實施の件

特に前官の禮源を聽い

過を賜ふ有難き

を述べることに でする故に個人を を述べることに で意見 の表 し世界の平和維持に努めた 直線の政策を行び共に協力 を提進したい、具體的意 製造したい、具體的意 製造したい、具體的意 製造したい、具體的意 要発を以て自ら世界に協力 を提進しつるが孔子は「標 を提進したい、具體的意 を提進したい。

本番・上海標金 ・ 大き は ・ たま も ・ 大き は ・

(使大日駐許)

丁日午前八時東京輝高列 八は王参帯官以下九名を 八は王参帯官以下九名を 十一日附朝刊を休刊致しますから十日は陸軍記念日につき祝意を表 陸軍記念 日休

(東京國通)

諒承願ひます

今朝東京着任



教 | 〇三、三七五 育 向 一志子 二分九 入为料階上 共 開五行演時內 割引は細五 御上 廣美 藤 吉 吉 澤堂

二日目 重なる口演者 田奈太子 進 (十二日) 筑



記念館に於け

イマ並びに演繹館など與行終 側に並べ、客馬車は吉野町通に先立つて長春座、新京キ は人力車を長春座に面した片で交通整理に乗り出すがこ 右によると長春座、公會堂前 るのケーテー式標識を構道に設 たので早速今夜から實施する は机京署では既報の如く四月か 衆中であつたが漸く案が纏つ 列

列させ演奏館は吉野町通りに は立たせず脇の露路に待たせ

新に停車所を設

が数十台もたか

(=)

まづ新京神社の報告祭を終

全市思ひ出の催

止めず正に陸軍日和である、り豪華島軍譜を高調した一此り

配詞 奏上つ

連れの宵

不在を幸ひ盗む

を合唱中野總領事代理の祝辭 高歳を唱和し冷酒を汲み交は 高歳を唱和し冷酒を汲み交は で大日本帝國 永沼挺身隊

へ通りに織りなす

山東省生れ住所不定無職徐守

百瀬田中佐指揮の

中學校、商業息を、サルに會族を先頭の在郷軍人、

申出で飼氏は喜びながら三笠 身柄を預けることにしたを下田検事々務取扱まで練々 町三丁目某氏にタカコさんの

九日午前零時三十分ごろから 公衆電話機盜難

車の待合ひに

散髪は如何? 乘客本位のモダン理髪屋 近く新京驛で開業

田凌ぎに負別り、 は乗換時間などを利用して は乗換時間などを利用して が設さ 来させやうと準備中だい、場合の改善に祭み門の改装を終めてゐる新の改善を終めてゐる新 Wをモットーに各種サル列車の待合時間を利 も來月一ばいには完成し司寺 月中に完成の發定だが遅れて も來月一ばいには完成し同時 ことになるであらうと、既に 理髪師の人選も決定し今はた

繁島しやらが、絶對同業者料金さへ安ければ幾らでも 同業者に 迷惑をかけぬ 稻川融長さんの話

電栗社宅等集合住宅隣接して 電栗社宅等集合住宅隣接電管舎 ・ 権運署等の所在地である部、権運署等の所在地である 尚特殊取扱事務は左如し ゐるので郵政機關設置により

説相と易斷

、要はその料金の問題があるであらうと見らがあるであらうと見ら

うといふ仕組で、最でに翻躺りから散髪ま

農告の御用は

最新(つ)川川〇〇帯へ

からいへば料金を

るのは本當

た僧みとある、現在急いぶので、このところ 旧業者壓迫の非難も起 に乗客以外の利用者が に乗客以外の利用者が

人一代には十二度の選と七大機あり、幸不幸や災難はいつどこにあるか知れず一寸先は質の暗夜である人生行路轉ばぬ前にどなたも急ぎ運命鑑定を 急ぎ運命鑑定を 急が運命鑑定を がある人生行路時は! 断とルニ階を3二〇二四

技術會議

鮮滿鐵道

R

満洲ラデオ普及株式曹社

五九二五

御明命以最寄雲雲所へ

滿日小爲替

に迷惑をかけぬやら市中の に迷惑をかければならない。結 高市中一等理髪店に較べて殊更に安く をの便宜に変がないまでも大したこと をの便宜に変があるい。結 をの便宜に変があるい。 をあるまいと思ふ、要は乗 といふやらなやるといふの は毛頭なくこの監告には といるやらなそを吸 はき頭なくこの監告に注意 【大連國通】本年度鮮消勢道 技術の共通統制に就て協議す 支術の共通統制に就て協議す る事となつたが消鐵より湾水 機道部長以下工作、輸送、工 務各課より代表者約十名が出 席の豫定

おける山口警備司令官統監の下に行はれた各

上から新京神社における報告祭、中

央通りに

陸。軍。記。念。日。建

四。離別

カコ(二七)さんの身柄引取を員谷本健二(三一)の妻を

にくれ世の人々に同情を求め. 既報。 夫は鐵窓に縛られ途方

同情者續出

☆満洲拓殖會社扱需宴 午后 8 今晩の主なる賞者放送・ (田)

▲七・○○吹銮樂(東京)陸東戸山郷校軍樂隊▲七・三○東戸山郷校軍樂隊▲七・三○東京樂燕▲八・○五獨唱(東京・東京樂燕▲八・○五獨唱(東京)と と氣温

創立委員會

台溫泉會社

費堂で被宋委員長以下禁災の 質は十日午後三時から記念公九台温泉株式會社の創立委員

上開催され 一、創立極意響、會社定款、 一、創立極意響、會社定款、 一、創立不務所設置に開する件 一、創立不務所設置に開する件 一、創立不務所設置に開する件 一、創立不務所設置に開する

月月日日 天朝 のののの 日 入出入出集の

0

南西の風暗花薄景

最高 二度九分余六時 四十分 金九時 四十分 金九時 四十分

●十日、十一日記念粗品贈呈●

設電線を 千二百米盗む 電柱へ登つての大仕事

政部の印刷所も近く同所に移 國務院會議で可決した、尚蒙 局の直營となすことに決定、 が今回之を買收して營繕需品を中銀印刷所に委託してゐた 收入印紙、切手、除乞の印刷講洲闕政府は從來有價證券、 印刷所を直營

お文神社ではいより、解労罪を10年の外の地議祭 山神官着任

三名増員方を申請中であつたが、去る七日國幣小社津島神社から平山敏郎氏が新に着任 足で多忙を極めるので神官二 現在権村神官四名では手不

交通部構内に 郵局を新設 今回大同

給することへなった と三月十日より事務取扱を開 大街交通部標内は郵局を新設 tetta(*)增五/三盾人京朝 社會式株融金和昭

現像

レコード吹込つ

口水

ン吹込)

本円但勿宮崎ら具はから 東二條通青陽ビル三階 東二條通青陽ビル三階

前月よりは四組それんと母へ二月中の新京神社神前結婚は 二月中神前結婚 二十一組 川海

0 京一の感廉

新製品 カツボー着。サロン前掛。腰紐。帶しめ。半ゑり。帶揚 ランドセル。帽子 0

買新期有本 よい店 の 三

此弊御持為ナラ右ノ品ニ限リ金三圓以上買上ノ方ニ限リ二割引奉仕ヲ致シマス

割引特賣

三月二十一日まで(以後無効)

新京吉野町一丁目

新 ■ 第(3)計三二人

何卒切に御鞭韃の程御願ひ申上げます。「「世ス部、レコード吹込部、修理部、地方部、相談部を一「ビス部、レコード吹込部、修理部、地方部、相談部を一「ビス部、レコード吹込部、修理部、地方部、相談部を一「ビス部、レコード吹込部、修理部、地方部、相談部を一「ビス部、レコード吹込部、修理部、地方部、相談部を一

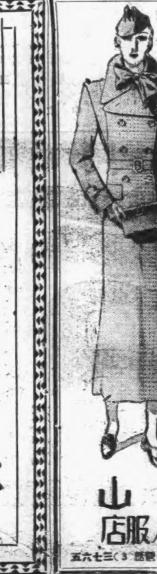
新京大經路三六號(市場前)

支店 公主嶺大和町電話(二)三二六一番

祖民刑一般法律事務 辯護士 小 新京朝日通八十三地番電ニーニハ八三 曾

會葬御禮 戚本マ サ 3

花に魁けて春の御用意を!



喫茶界のリーダー 近代的構成大改裝竣工 視覺を快く生かした店 味覺と聴覺と

H

開

院催されることになったが、 一日間に重り長春座において

愈よ明夜開演

正五時より長春座

五 氣象通報 番組発告 二、零子の部屋 二、零子の部屋 二、零子の部屋

五四引四三 少の五き 女のの

明晩は

滿

洲

特

輯プ

青年

(P)

围 ドラマ 喇叭 後七時

二三日後演習師り 麻洋品店內 大連より全満中繼

年學校小新設されてより一年學校小新設より 講覧局司政部長 武部 六 滅 部 六 滅

待望!吉田奈良

は既報の如くファン符認裡に 京漁曲ファンの期待を充分に 高吉田奈良丸師の漁曲口演會 彦と堂々たる口演振りには在る吉田奈良丸師の漁曲口演會 彦と堂々たる口演振りには在 高田界の王座に君臨し全画的 なる豪華障容で、奈良丸の雌 とを自覚され、自奮自風、寸 間を動墜に悪念され、諸君の 関を動墜に悪念され、諸君の で有縁の日本青年たるべく決 ですれん事を顕ふ文第である ●1白の人 他の間情を得る事に努め誠意を養せば安全 中二黑の人 妄奉を傾しめば 学なく業績自ら揚るべき日

工、集めなす色も厳かに 紅然ゆる黎明の なこぞ吾ら若人の 希望と意気の表徴なれ 一、類ぐ希望起げなんと 朝日にみがく吾が智徳 燃えたつ意気を報せんと タベにはげむ吾が貴務 次いで^(新京) ●五寅の人 前途に認みを騙

方に進めば**過無**し

古に耐え事に営れ

電話さ金融電話店を金融

本合へ

新京遠連町二ノー大

事

橋治療院

現狀に痛足して

サック 全種の百貨店 を開発を表現を表現である。 を開発を表現である。 ないのでは、 を対象を引きませる。 ないのでは、 ないのでは、

連押入床付 に付御利用成被 に付御利用成被 が高端中の鳴今般被

恭安洋行人



書學籍

雜誌品

古野町一丁目

正八

電子記事子門 公金社 電影源名義其ノ俊仲介謝組 新京百貨店二階 新京百貨店二階 **从宋道具。**

東三周総議議選選表下 中張6本部(千井) 中張6本部(千井) 中張路頭に送うものは本會へ

萬手

お入り ランドセ 野商店。 用 品は

宿學 舍費 申込者多數に付希望者は至急申込まれたし 規則書進呈 温ヶ月卒業 人 Ξ 食 附二十五圓

明治自動車練習所

があり、大連に移つて「詩吟」 「新京曹年學校々歌」の放送 宮 した、先づ新京から「講演」と 宮 した、先づ新京から「講演」と 宮

一年足らずの短時日にもか」は 一年足らずの短時日にもか」は 一般の大震に感謝に堪えないま の大震に直護の大寒青年の教育の 関下我國の青少年にして中等 の大震に違する現状であり、 全國二百萬の大寒青年の教育の がも時勢の進展はこれが一帯 かも時勢の進展はこれが一帯 の統合張化を必要とし昨年五 の統合張化を必要とし昨年五 のたのであるが、し

館易宿泊所 一班 一班 番の本で

神 炎鍼高スト語

場は3五八二九季 あんま

の二理せ 水鍼灸院

員

圓名名



1(3)二四六六青陽ビル三階 1(3)二四六六青陽ビル三階

賣物ア

四八二八卷 金融

電話

教授 -11<11<0 御教授ス 生の衣白 トルーオビンコ名對經 子かた江人・二濃岡 左彦保久大 株山・鄭太炯川県 耕花・鄭四軍林小 七 II. H H

高き使命を双肩に

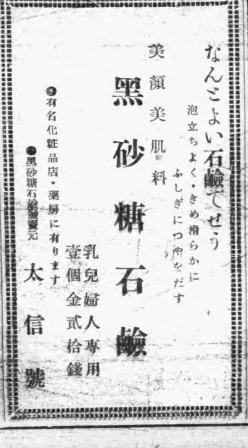
0)

八十錢

三ヶ月 同一ヶ月 の三ヶ月 の三ヶ月 の三ヶ月 東ニ劇引、無用物制三より乗約住権制符は促

深劇







☆☆ 夜 ti 市年學校の使命に就て 南年學校の使命に就て 調東局司政総長 科長 陳 叔 達 文教:三題称同專門教育 電四九二〇番が 瀬廳晩東ユ 語公の第1 示番)ス

八・三〇 時報・ニュ 根津岭 八、〇〇ラデ 期外は響く 進曲 連曲 が中の行 ニュース 動 勝 勇

(東京)

第京ヤネマ朝

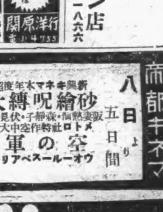
看板 電話3三三三四番 は

三省堂製

金十年の 帳簿專門













三月一日よ ニキュ

